

国土交通大臣認定擁壁

RECOM system®

レ コ ム シ ス テ ム

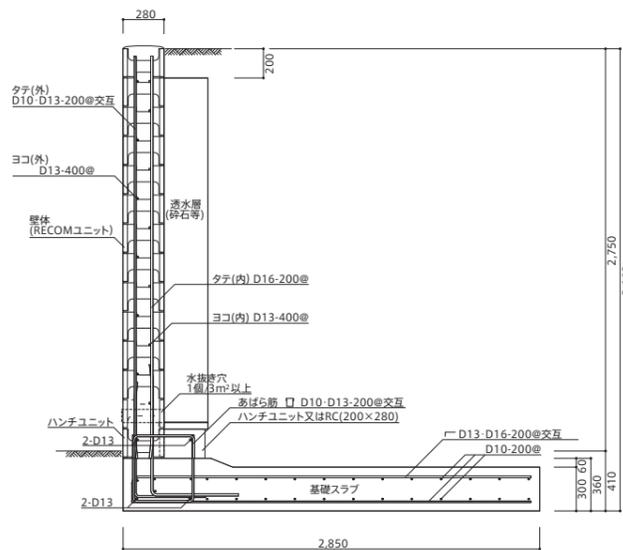


- 高低差2.75m※(底盤より3.16m)までの垂直施工が可能 ※280タイプ(受注生産品)使用の場合
- カラーとテクスチャーに優れた高品質・高強度ユニット
- 横筋直置きで工期大幅短縮
- 大型重機が不要でコストダウン可能
- 82種類の多彩な認定設計
- 大地震・フェンス荷重対応設計(一部)
- 逆L型設計(一部) ■ JIS認証取得商品
- セメント製品比※CO₂排出量削減率最大51.2%(2024年度実績) ※環境省・経済産業省「グリーン・バリューチェーンプラットフォーム」排出原単位データベース(ver3.2)の「セメント製品」より算出

平成20年(2008年)6月、「RECOMシステム」が、高低差2.75m(底盤より3.16m)までの垂直擁壁として、宅地造成及び特定盛土等規制法施行令第17条の規定に基づく国土交通大臣認定を取得しました。

平成8年の一般財団法人日本建築センター「一般評価」からさらに改良を重ねて、RECOMシステムは、宅地造成及び特定盛土等規制法・同施行令等、関連告示および通達、日本建築センターの諸指針、および日本建築学会の諸規準、さらに、大震災における宅地の被害実態などをふまえた耐震対策、各地防災に係る新技術・新工法・環境に配慮した防災技術などを加えた「盛土等防災マニュアル」にも準拠しました。RECOMユニットは、JIS A 5406建築用コンクリートブロックの認証商品です。そのため認定工事でない工事でもこれまで以上に安心してご使用いただけます。

■ 「RECOMシステム」の認定設計例 ※ 280タイプ(受注生産品)使用の場合



〈ご注意〉大臣認定工事について
大臣認定工事には、RECOMシステム認定設計等の事前確認と施工指導が必ず必要となります。ユニットを単に使用するだけでは、大臣認定擁壁になりません。下記のフロー通りに工事を行い、現地に大臣認定プレートを設置して、初めて大臣認定擁壁となります。

「RECOMシステム」のフロー

- 問い合わせ** RECOMシステムについて問い合わせる。
- 事前調査** 施工する現場の土質調査・地盤調査を行い、設計選択に必要な資料、施工に関する情報を収集する。
- 設計選択** 事前調査の情報を基に標準設計から設計を選択する。
- 事前確認** 土質調査などから認定設計内容を確認し、認定書(写)を取得する。
- 施工計画** 現場状況に合った施工計画を立てる。
- RECOMシステム説明 施工指導** 事前確認内容と照合し、施工方法の説明を受け、施工指導記録No.を取得する。
- ユニット発注・納品** RECOMユニットを「施工指導記録No.」を伝えて発注する。伝票に大臣認定の表示があることを確認する。
- 施工** 別冊の施工ガイドに定められた通りに施工を行う。
- 写真記録・品質管理** 定められた施工工程を写真に記録し、コンクリートの圧縮強度試験を行う。
- 工事最終確認 写真記録確認** 記録した写真やコンクリートの試験成績表などを基に、工事終了後、現場の最終検査を受ける。
- 大臣認定擁壁プレート発行・設置** 施工年月を刻印した大臣認定プレートを、施工現場に設置する。
- 完了** 写真を記録し完了。

大臣認定に基づいた設計図書類(施工ガイド、積算ガイド、詳細図面集など)を用意しておりますので、詳しくは弊社担当営業員までお問い合わせください。



「RECOMシステム」用型枠状ブロック

■ 耐水性能を強化

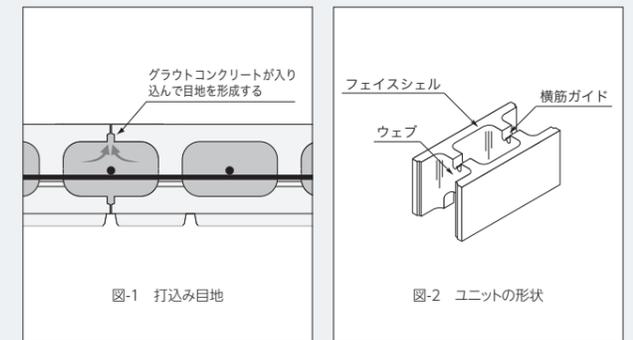
擁壁の前壁は、常に水分の多い土に接しており、通常の塀から比較するとはるかに厳しい条件にさらされることになるため、耐水性能をアップする必要があります。そのためRECOMユニットは、型枠状ブロック(JIS A 5406 建築用コンクリートブロック)の防水でJISを取得、さらに、平成15年国土交通省告示第463号(鉄筋コンクリート組積造の建築物、または建築物の構造部分の構造方法に関する安全上必要な技術的基準を定める件)に規定される、ユニット規格にも準拠して高性能化しています(表-1)。

表-1 ユニットの性能

圧縮強度 (N/mm ²)	吸水率 (%)	透水性 (ml/m ² ・h)	吸水層の厚さ
25以上	8以下	200以下	フェイスシールの2/3以下

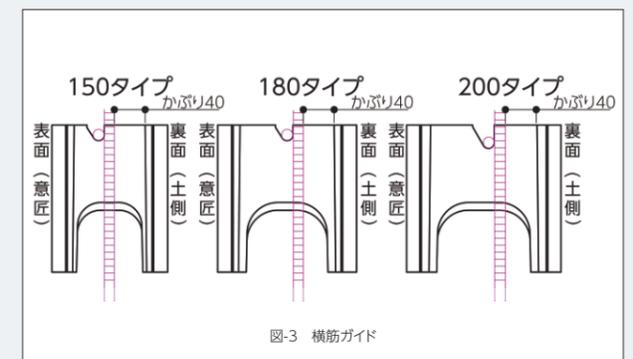
■ 打込み目地

RECOMユニットは、150mmから280mmの6種類の厚みをラインアップしております。目地工法は、横目地にはモルタル目地(10mm厚)、縦目地には打込み目地を採用しています。打込み目地は、グラウトコンクリート打込み時に形成されるため(図-1)、組積作業時は横目地だけにモルタルを使用します。



■ 横筋ガイド

ウェーブ上面には、横筋の配筋作業の助けとなる横筋ガイドを設けています(図-2)。溝が斜めに立ち上がっている方が擁壁の表面側となります(図-3)。



デザインブロック

ブロックアクセサリ

擁壁

レコムシステム

インターロッキングブロック

デザインペーパー

天然石

れんが

ガーデンアイテム

パブリックアイテム